法人 協調會

大なる障害を与へた

「相談せずに争議を始めんから」といふのが彼等の云分を罵倒する点

固であると聞くが、東京で月曜西島、大塚を始め幹部と協

会へ挨拶に訪問されねる 彼等に無産階級的な良心なり協力心

があったならば此時直ちに来会へ相談に来るなりとるべき行動があった。ま

た二十日の総会で中途退席し十八日臨時大会を開き直ちに罷業

に入ったに就ては神戸の市部迄さへ驚いた位であって、それは労働争

議に於て避けることの出来なかったものである。それを兎角批評し

ケチをつけるのは実際の労苦を知らぬものの云ひがかりである。

三、財界の一大恐慌

東京の渡辺銀行に発して十五、近江の大銀行、特殊銀行として治

まり信頼されてゐた台湾銀行も他会社的に休業銀行が続出し之が

為内閣が總辞職する等の財界の恐慌が影響し前述の要求通

逓相の御行く挫折し、社会的批判が一切の関係を放棄して一日も速か

に争議の解決を要求する様になった。

四、白紙一任

四月二十日石塚東京局長と交渉の際当時田逓相の意向のため大動

揺があった昔の事情に禍された係を有して白紙一任して勤務條件を

撤回したのであるが、それが後の再交渉決裂の二十日一切の交渉を廃棄

し従って勤務條件も元にかへり改めて提出されたに拘らず社会的認

識が勤務條件を問題にしなくなった。

我等は以上四つの原因を主として当時の社会状態及自己の実力を省み

逓信従業員の理解ある御待を信頼し個々の條件の表面的字句よりも実

質に重きを置き之れなる餘裕を残して争議を中止したのであった。

ロ、覚書

逓信大臣の御仲に依り取り交した覚書は左の如くである。

財團 協調會